

平成27年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県		地区	岐阜県		地区	山口県		
大学附属病院	110 数		地区計	11 数		64 数	地区計		15 数	18 数	徳島県
一般病院	542 数	関東地区	茨城県	12 数	近畿地区	静岡県	20 数	香川県	11 数		
個人医療機関	3 数		栃木県	11 数		愛知県	41 数	愛媛県	8 数		
登録衛生検査所	89 数		群馬県	13 数		三重県	11 数	高知県	4 数		
検診機関	46 数		埼玉県	28 数		地区計	117 数	地区計	97 数		
合計	790 数		千葉県	28 数		滋賀県	8 数	福岡県	30 数		
②所属都道府県別数地区別・県別			東京都	85 数		中国	京都府	15 数	九州地区	佐賀県	6 数
地区	北海道		神奈川県	42 数			大阪府	55 数		長崎県	12 数
			山梨県	6 数			兵庫県	34 数		熊本県	9 数
東北	青森県		長野県	23 数			奈良県	5 数		大分県	7 数
			岩手県	7 数			和歌山県	1 数		宮崎県	7 数
		宮城県	14 数	地区計	118 数		鹿児島県	8 数			
		秋田県	10 数	鳥取県	6 数		沖縄県	13 数			
		山形県	13 数	島根県	8 数		地区計	92 数			
		中部	富山県	9 数	岡山県		13 数	合計		790 数	
		石川県	13 数	広島県	23 数						
		福井県	8 数								

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		1 : 定期的に週2回以上勤務	252 数
細胞診専門医数	2,351 数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	304 数
② 経験年数		3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	153 数
経験年数合計	43,563 年	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	68 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	18.5 年	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	58 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	325 数
常勤	1,333 数	合計	1,160 数
非常勤	1,118 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	1292 数
		いいえ	307 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数(平均)	17.5 年
細胞診検査士数	4,551 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	3,612 数
経験年数合計	79,814 年	非常勤	1842 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,856,872	128,102	23,297	45,942	3,059,832	228,479
呼吸器	991,742	34,003	69,092	59,376	1,157,841	120,546
消化器	63,652	23,012	21,167	7,418	115,347	38,876
泌尿器	1,413,451	123,400	43,321	3,650	1,588,667	91,432
乳腺	101,224	21,625	25,965	29,003	179,533	39,242
甲状腺	89,002	18,806	12,473	19,631	140,892	13,579
体腔液	232,649	17,407	52,254	1,155	304,202	79,620
リンパ節	25,801	5,268	19,546	4,386	55,490	23,148
その他	102,174	16,962	13,558	5,989	138,547	23,755
小計	5,876,567	388,736	280,651	176,551	6,740,446	659,083

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
21,867	9,426,413	213,402	43,366	145,772	97,849	13,185	8,698	5,171	558	1331	10,033,385

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,616	162	29	58	3,873	289
呼吸器	1,255	43	87	75	1,466	153
消化器	81	29	27	9	146	49
泌尿器	1,789	156	55	5	2,011	116
乳腺	128	27	33	37	227	50
甲状腺	113	24	16	25	178	17
体腔液	294	22	66	1	385	101
リンパ節	33	7	25	6	70	29
その他	129	21	17	8	175	30
小計	7,439	492	355	223	8,532	834

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
28	11,932	270	55	185	124	17	11	7	1	2	12,700

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	3,552 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	3,394 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	1,181 数
技師参加者	11,383 数	技師	10,285 数	成績(%合計)	115,229.0 %		
合計	14,935 数	参加者	13,679 数	成績(平均)	97.6 %		

27年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県	1 数	地区	岐阜県	1 数	地区	山口県	1 数	
大学附属病院			110 数	地区計		7 数	静岡県		1 数	徳島県	1 数
				茨城県		2 数	愛知県		5 数	香川県	1 数
				栃木県		2 数	三重県		1 数	愛媛県	0 数
				群馬県		1 数	地区計		12 数	高知県	1 数
合計			110 数	埼玉県		4 数	滋賀県		1 数	地区計	9 数
				千葉県		8 数	京都府		2 数	福岡県	3 数
				東京都		25 数	大阪府		6 数	佐賀県	1 数
				神奈川県		12 数	兵庫県		2 数	長崎県	1 数
				山梨県		1 数	奈良県		2 数	熊本県	1 数
②所属都道府県別数地区別・県別		関東地区	長野県	1 数	近畿地区	和歌山県	0 数	九州地区	大分県	1 数	
地区	北海道		3 数	新潟県		1 数	地区計		13 数	宮崎県	0 数
	地区計		3 数	地区計		57 数	鳥取県		1 数	鹿児島県	1 数
東北	青森県		1 数	富山県		1 数	島根県		1 数	沖縄県	1 数
	岩手県		1 数	石川県		2 数	岡山県		2 数	地区計	9 数
	宮城県		2 数	福井県		1 数	広島県		1 数	合計	110 数
	秋田県		1 数								
	山形県		1 数								
			中部								

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1 : 定期的に週 2 回以上勤務	47 数
細胞診専門医名	597 数	2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	26 数
② 経験年数		3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	9 数
経験年数合計	8108 年	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	10 数
経験年数合計 / 細胞診専門医数 (平均)	13.6 年	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	6 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	13 数
常勤	529 数	合計	111 数
非常勤	86 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	247 数
		いいえ	33 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数 / 細胞診検査士数 (平均)	13.3 年
細胞診検査士数	748 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	722 数
経験年数合計	9,912 年	非常勤	195 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	245,688	22,524	6,045	5,300	279,624	56,043
呼吸器	70,995	6,618	16,860	5,525	99,998	31,898
消化器	19,069	21,395	6,145	2,611	34,565	13,771
泌尿器	166,252	121,169	8,181	230	193,927	20,954
乳腺	9,708	19,707	4,189	3,944	20,314	7,584
甲状腺	16,079	19,340	3,189	5,242	28,808	4,008
体腔液	61,304	17,538	11,803	229	77,721	26,789
リンパ節	7,327	5,168	6,133	1,637	16,711	7,394
その他	36,300	15,618	4,107	1,931	48,643	9,858
小計	632,722	396,856	66,674	26,650	800,406	179,055

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1895	314,034	15518	3,806	14,112	15,127	1,843	2,203	1,402	87	347	389,383

② 判定別件数・施設数 (平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,234	205	55	48	2,542	509
呼吸器	645	60	153	50	909	290
消化器	173	195	56	24	314	125
泌尿器	1,511	1,102	74	2	1,763	190
乳腺	88	179	38	36	185	69
甲状腺	146	176	29	48	262	36
体腔液	557	159	107	2	707	244
リンパ節	67	47	56	15	152	67
その他	330	142	37	18	442	90
小計	5,752	3,608	606	242	7,276	1,628

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
17	2,855	141	35	128	138	17	20	13	1	3	3,540

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録 (参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	941 数	医師	895 数	プログラム	148 数
技師参加者	2,046 数	技師	1,789 数	成績 (%合計)	14,542.0 %
合計	2,834 数	参加者	2,684 数	成績 (平均)	98.3 %

27年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県		地区	岐阜県		地区	山口県	
一般病院	554 数		地区計	9 数		39 数	静岡県		18 数	徳島県
			茨城県	8 数		愛知県	31 数		愛媛県	7 数
			栃木県	7 数		三重県	10 数		高知県	2 数
			群馬県	10 数		地区計	89 数		地区計	72 数
			埼玉県	17 数		滋賀県	5 数		福岡県	18 数
合計	554 数		千葉県	17 数		京都府	9 数		佐賀県	3 数
②所属都道府県別数地区別・県別		関東地区	東京都	45 数	近畿地区	大阪府	42 数	九州地区	長崎県	9 数
北海道	28 数		神奈川県	27 数		兵庫県	26 数		熊本県	7 数
北海	地区計		山梨県	4 数		奈良県	2 数		大分県	4 数
	28 数		長野県	20 数		和歌山県	1 数		宮崎県	6 数
			新潟県	11 数		地区計	85 数		鹿児島県	6 数
			地区計	166 数		鳥取県	4 数		鹿儿島県	6 数
			富山県	7 数		島根県	5 数		沖縄県	10 数
			石川県	6 数		岡山県	9 数		地区計	63 数
			福井県	6 数		広島県	16 数		合計	542 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1 : 定期的に週2回以上勤務	67 数
細胞診専門医名	1161 数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	202 数
② 経験年数		3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	43 数
経験年数合計	22233 年	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	51 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.1 年	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	22 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	97 数
常勤	744 数	合計	482 数
非常勤	466 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	662 数
		いいえ	77 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数 (平均)	14.2 年
細胞診検査士数	2,160 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	2,000 数
経験年数合計	30,614 年	非常勤	771 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	744,331	42,848	11,479	24,611	813,223	99,112
呼吸器	209,158	16,383	44,627	16,982	286,878	77,594
消化器	36,420	12,908	13,547	4,172	66,945	23,766
泌尿器	470,502	52,634	24,306	2,566	548,553	53,561
乳腺	39,528	8,893	13,438	12,494	74,269	24,891
甲状腺	49,403	10,040	7,389	11,220	77,873	8,970
体腔液	131,037	9,219	28,683	793	169,769	48,019
リンパ節	15,920	3,122	11,837	2,368	33,211	15,077
その他	44,760	5,549	6,919	2,678	59,776	12,453
小計	1,741,059	161,747	162,181	77,884	2,131,097	363,203

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
8,500	1,527,251	50809	11760	36832	31475	4,958	3,558	2,320	182	710	1,673,660

② 判定別件数・施設数 (平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,373	79	21	45	1,502	183
呼吸器	386	30	82	31	529	143
消化器	67	24	25	8	124	44
泌尿器	868	97	45	5	1,012	99
乳腺	73	16	25	23	137	46
甲状腺	91	19	14	21	144	17
体腔液	242	17	53	1	313	89
リンパ節	29	6	22	4	61	28
その他	83	10	13	5	110	23
小計	3,212	298	299	144	3,932	670

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
16	2,818	94	22	68	58	9	7	4	0	1	3,088

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	1841 数	V-2 学会・研修会参加記録 (参加者名簿)	医師	1,755 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	794 数
技師参加者	6,203 数		技師	5,626 数		成績 (%合計)	77719 %
合計	8,044 数		参加者	7,381 数		成績 (平均)	97.9 %

27年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県	0数	地区	岐阜県	0数	地区	山口県	0数	
		地区	地区計	0数	地区	静岡県	0数	地区	徳島県	0数	
個人医療機関		関東地区	茨城県	0数	地区	愛知県	0数	地区	香川県	0数	
			栃木県	0数	地区	三重県	0数	地区	愛媛県	0数	
			群馬県	0数	地区	滋賀県	0数	地区	高知県	0数	
合計			埼玉県	0数	近畿地区	京都府	0数	九州地区	福岡県	1数	
			千葉県	0数	大阪府	0数	福岡県	福岡県	1数		
			東京都	0数	兵庫県	1数	佐賀県	0数			
			神奈川県	0数	奈良県	0数	長崎県	0数			
			山梨県	0数	和歌山県	0数	熊本県	0数			
			長野県	0数	地区計	1数	大分県	0数			
			新潟県	0数	鳥取県	0数	宮崎県	0数			
		地区計	0数	島根県	0数	鹿児島県	0数				
		富山県	0数	岡山県	0数	沖縄県	0数				
		石川県	0数	広島県	1数	地区計	1数				
		福井県	0数			合計	3数				
②所属都道府県別数地区別・県別											
北海道	北海道										
	地区計										
東北	青森県										
	岩手県										
	宮城県										
	秋田県										
	山形県										
			中部								
			中国								

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1:定期的に週2回以上勤務	0数
細胞診専門医名	3数	2:毎週1回勤務:3時間以上	0数
② 経験年数		3:毎週1回勤務:1時間~3時間未満	1数
経験年数合計	73年	4:2週間に1回勤務:3時間以上	0数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	24.3年	5:2週間に1回勤務:1時間~3時間未満	0数
③ 常勤か非常勤		6:それ以外	0数
常勤	3数	合計	1数
非常勤	1数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	1数
		いいえ	0数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数(平均)	14.8年
細胞診検査士数	6数	③常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	5数
経験年数合計	89年	非常勤	5数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1189	14	7	10	1220	167
呼吸器	122	20	29	26	197	58
消化器	48	2	0	5	55	8
泌尿器	678	44	20	6	748	24
乳腺	4	2	3	4	13	5
甲状腺	12	1	1	7	21	0
体腔液	99	5	18	0	122	3
リンパ節	0	1	3	0	4	3
その他	10	1	2	0	13	0
小計	2162	90	83	58	2393	268

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
12	11,396	182	35	171	104	14	13	4	1	7	11,939

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	396	5	2	3	407	56
呼吸器	41	7	10	9	66	19
消化器	16	1	0	2	18	3
泌尿器	226	15	7	2	249	8
乳腺	1	1	1	1	4	2
甲状腺	4	0	0	2	7	0
体腔液	33	2	6	0	41	1
リンパ節	0	0	1	0	1	1
その他	3	0	1	0	4	0
小計	721	30	28	19	798	89

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
4	3,799	61	12	57	35	5	4	1	0	2	3,980

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	2数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	2数	VI 精度管理参加記録	2数
技師参加者	22数	医師	22数	プログラム	200%
合計	24数	技師参加者	24数	成績(平均)	100.0%

27年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県		地区	岐阜県		地区	山口県	
				0 数					3 数	
			地区計	11 数		静岡県	1 数		徳島県	0 数
		関東地区	茨城県	0 数	近畿地区	愛知県	5 数	九州地区	香川県	0 数
			栃木県	1 数		三重県	0 数		愛媛県	0 数
登録衛生検査所			群馬県	2 数		地区計	13 数		高知県	1 数
			埼玉県	6 数		滋賀県	1 数		地区計	7 数
合計			千葉県	2 数		京都府	3 数		福岡県	6 数
②所属都道府県別数地区別・県別			東京都	10 数	大阪府	5 数	佐賀県	1 数		
地区	北海道		5 数	神奈川県	3 数	兵庫県	4 数	長崎県	2 数	
	地区計		5 数	山梨県	1 数	奈良県	0 数	熊本県	0 数	
東北	青森県		2 数	長野県	1 数	和歌山県	0 数	大分県	1 数	
	岩手県		3 数	新潟県	3 数	地区計	13 数	宮崎県	0 数	
	宮城県	2 数	地区計	29 数	鳥取県	0 数	鹿児島県	1 数		
	秋田県	2 数	富山県	0 数	島根県	0 数	沖縄県	0 数		
	山形県	2 数	石川県	4 数	岡山県	1 数	地区計	11 数		
		中部	福井県	0 数	広島県	4 数	合計	89 数		

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1 : 定期的に週 2 回以上勤務	125 数
細胞診専門医名	409 数	2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	64 数
② 経験年数		3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	64 数
経験年数合計	8745 年	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	4 数
経験年数合計 / 細胞診専門医数 (平均)	21.4 年	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	12 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	122 数
常勤	42 数	合計	391 数
非常勤	396 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	284 数
		いいえ	122 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数 / 細胞診検査士数 (平均)	22.4 年
細胞診検査士数	1279 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	587 数
経験年数合計	28629 年	非常勤	786 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1624587	56588	5316	13655	1715144	64387
呼吸器	570684	10076	6858	28837	620355	10571
消化器	7468	3273	1331	603	12875	1290
泌尿器	760738	50731	10416	790	828975	16638
乳腺	49793	9988	7935	12006	81522	6537
甲状腺	19674	4088	1691	2689	29493	592
体腔液	38693	3721	11426	131	54671	4743
リンパ節	2403	520	1512	350	5310	671
その他	20402	5044	2495	1349	29290	1429
小計	3094442	144029	48980	60410	3377635	106858

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
9989	5,890,709	132,426	24,278	82,296	43,235	5,325	2,585	1,250	206	247	6,236,190

② 判定別件数・施設数 (平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	18,254	636	60	153	19,271	723
呼吸器	6,412	113	77	324	6,970	119
消化器	84	37	15	7	145	14
泌尿器	152,148	570	117	9	9,314	187
乳腺	9,959	112	89	135	916	73
甲状腺	9,837	46	19	30	331	7
体腔液	12,898	42	128	1	614	53
リンパ節	1,202	6	17	4	60	8
その他	10,201	57	28	15	329	16
小計	1,547,221	1,618	550	679	37,951	1,201

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
112	66,188	1,488	273	925	486	60	29	14	2	3	70,070

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	524 数	V-2 学会・研修会参加記録 (参加者名簿)	医師	504 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	169 数
技師参加者	2,165 数	技師	1,898 数	成績 (% 合計)	16214.5 %		
合計	2,689 数	参加者	2,402 数	成績 (平均)	95.9 %		

27年度 検診機関 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県	1 数	地区	岐阜県	0 数	地区	山口県	1 数
			地区計	7 数		静岡県	0 数		徳島県	0 数
			茨城県	2 数		愛知県	0 数		香川県	1 数
			栃木県	1 数		三重県	0 数		愛媛県	1 数
			群馬県	0 数		地区計	3 数		高知県	0 数
検診機関		関東地区	埼玉県	1 数	近畿地区	滋賀県	1 数	九州地区	地区計	8 数
合計			千葉県	1 数		京都府	1 数		福岡県	2 数
			東京都	5 数		大阪府	2 数		佐賀県	1 数
			神奈川県	0 数		兵庫県	1 数		長崎県	0 数
			山梨県	0 数		奈良県	1 数		熊本県	1 数
			長野県	1 数		和歌山県	0 数		大分県	1 数
			新潟県	2 数		地区計	6 数		宮崎県	1 数
			地区計	13 数		鳥取県	1 数		鹿児島県	0 数
			富山県	1 数		島根県	2 数		沖縄県	2 数
			石川県	1 数		岡山県	1 数		地区計	8 数
		福井県	1 数	広島県	1 数	合計	46 数			

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1 : 定期的に週 2 回以上勤務	13 数
細胞診専門医名	181 数	2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	12 数
② 経験年数		3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	36 数
経験年数合計	4,404 年	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	3 数
経験年数合計 / 細胞診専門医数 (平均)	24 年	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	18 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	93 数
常勤	15 数	合計	175 数
非常勤	169 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	98 数
		いいえ	75 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数 / 細胞診検査士数 (平均)	23.9 年
細胞診検査士数	358 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	298 数
経験年数合計	8,547 年	非常勤	85 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	241,077	6,128	450	2,366	250,021	8,770
呼吸器	140,783	906	718	8,006	150,413	425
消化器	647	89	144	27	907	41
泌尿器	15,281	727	398	58	16,464	255
乳腺	2,191	269	400	555	3,415	225
甲状腺	3,834	187	203	473	4,697	9
体腔液	1,516	77	324	2	1,919	66
リンパ節	151	11	61	31	254	3
その他	702	57	35	31	825	15
小計	406,182	8,451	2,733	11,549	428,915	9,699

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,861	1,716,682	15,897	3,532	13,365	8,051	1,223	464	257	82	20	1,722,213

② 判定別件数・施設数 (平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	5,241	133	10	51	5,435	191
呼吸器	3,061	20	16	174	3,270	9
消化器	14	2	3	1	20	1
泌尿器	332	16	9	1	358	6
乳腺	48	6	9	12	74	5
甲状腺	83	4	4	10	102	0
体腔液	33	2	7	0	42	1
リンパ節	3	0	1	1	6	0
その他	15	1	1	1	18	0
小計	8,830	184	59	251	9,324	211

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
40	37,319	346	74	278	168	25	10	5	2	0	37,439

Ⅴ 学会・研修会参加記録	Ⅴ-2 学会・研修会参加記録 (参加者名簿)	Ⅵ 精度管理参加記録
専門医参加者	医師	プログラム
244 数	238 数	68 数
技師参加者	技師	成績 (% 合計)
947 数	950 数	6553.5 %
合計	参加者	成績 (平均)
1,191 数	1,188 数	96.4 %

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	773	いいえ	17		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	759	いいえ	31		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	707	いいえ	83	「はい」ならば何%くらいですか	21 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	721	いいえ	68	「はい」の場合のダブルチェック実施率	45.3 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	4.2 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	784	いいえ	6	標本の保管年数	31 年	
					報告書の保管年数	60 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	781	いいえ	9		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	776	いいえ	14		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	779	いいえ	11		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	777	いいえ	13		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	563	いいえ	227		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	350	いいえ	440	1日の最大検体数	69 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	435	いいえ	355		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	688	いいえ	102		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	764	いいえ	26		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	766	いいえ	24		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適當な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	718	いいえ	72		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	767	いいえ	23		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	666	いいえ	124	「いいえ」の場合何%	29.5 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	534	いいえ	256	「はい」の場合 一年何回	69.9 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	473	いいえ	317		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	107	いいえ	3		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	103	いいえ	7		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受け取るように努めていますか？	はい	102	いいえ	8	「はい」ならば何%くらいですか	41.9 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	105	いいえ	5	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	52.3 % 2.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	108	いいえ	2	標本の保管年数 報告書の保管年数	45.6 年 80.6 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	107	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	106	いいえ	4		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	109	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	80	いいえ	30		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	42	いいえ	68	1日の最大検体数	60.9 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	39	いいえ	71		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	87	いいえ	23		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	106	いいえ	4		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	106	いいえ	4		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	100	いいえ	10		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	105	いいえ	5		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受け取るようにしていますか？	はい	98	いいえ	12	「いいえ」の場合何%	40.6 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	85	いいえ	25	「はい」の場合 一年何回	50.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか？	はい	65	いいえ	45		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	533	いいえ	9		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	520	いいえ	22		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	489	いいえ	53	「はい」ならば何%くらいですか	29.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	480	いいえ	62	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	49.5 % 4.6 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	536	いいえ	6	標本の保管年数 報告書の保管年数	32.0 年 67.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	534	いいえ	8		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	530	いいえ	12		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	533	いいえ	9		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	529	いいえ	13		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	348	いいえ	194		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	333	いいえ	209	1日の最大検体数	61.6 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	299	いいえ	243		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	483	いいえ	59		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	523	いいえ	19		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	521	いいえ	21		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	481	いいえ	61		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	524	いいえ	18		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	458	いいえ	84	「いいえ」の場合何%	27.3 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	339	いいえ	203	「はい」の場合 一年何回	50.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	286	いいえ	256		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	9.3 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	23.7 % - %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	3	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	8.0 年 40.3 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	2	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	2	いいえ	1	1日の最大検体数	60.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	2	いいえ	1		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	2	いいえ	1	「いいえ」の場合何%	0.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	2	いいえ	1	「はい」の場合 一年何回	50.5 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	2		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	83	いいえ	6		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	86	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	80	いいえ	9	「はい」ならば何%くらいですか	7.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	87	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	18.8 % 7.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	89	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	7.5 年 20.9 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	89	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	89	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	87	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	88	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	89	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	81	いいえ	8	1日の最大検体数	81.6 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	59	いいえ	30		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	77	いいえ	12		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	87	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	89	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	88	いいえ	1		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	88	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	68	いいえ	31	「いいえ」の場合何%	21.9 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	78	いいえ	11	「はい」の場合 一年何回	28.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	75	いいえ	14		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	45	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	45	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	31	いいえ	17	「はい」ならば何%くらいですか	14.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	44	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率	35.1 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	6.5 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	46	いいえ	0	標本の保管年数	8.0 年	
					報告書の保管年数	10.0 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	46	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	46	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	46	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	46	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	42	いいえ	4		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	39	いいえ	11	1日の最大検体数	88.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	34	いいえ	12		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	36	いいえ	10		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	43	いいえ	3		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	45	いいえ	1		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	44	いいえ	2		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	45	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	38	いいえ	8	「いいえ」の場合何%	12.5 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	37	いいえ	9	「はい」の場合 一年何回	21.4 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	34	いいえ	12		